

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1206 里山保全の実際			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	隔週偶数
種別	条件付			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	土曜3限、土曜4限				
教室	C101教室				
代表教員	岩本 陽児				
担当教員	岩本 陽児				
テーマと到達目標	前期科目「里山保全の理論」履修済みの学生に対して開講する。理論を現場で実践し、里山の維持管理に必要な技能を現場で習得することを旨とする。必要に応じ、理論に立ち返って理解を深める。状況が許せば地域の里山NPOの保全地に出かけて作業に参加し、交流を図る。				
概要	主たるフィールドは、本学の裏山（旧称おおさか山）。ここは川崎市麻生区岡上に属し、2004年度に川崎市条例により「岡上和光山」として保存緑地指定を受けた後、保全のためのマスタープランが作成されている。授業は実技（作業）を中心とするのでそのつもりで作業用の身支度、足ごしらえで来ること。伝統的な刃物の扱いの習熟も目指す。怪我がないように、取り扱いには細心の注意を払うこと。 *和光大学がチェーンソー・刈払い機等の安全講習を行う場合には、この授業を振り替えて参加してもらう。（参加無料）				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	(講師出張のため休講)				対面授業
第2回	顔合わせとフィールド巡検				対面授業
第3回	座学とフィールドワーク				対面授業
第4回	座学とフィールドワーク				対面授業
第5回	座学とフィールドワーク				対面授業
第6回	座学とフィールドワーク				対面授業
第7回	座学とフィールドワーク				対面授業
第8回	座学とフィールドワーク				対面授業
第9回	座学とフィールドワーク				対面授業
第10回	座学とフィールドワーク				対面授業
第11回	座学とフィールドワーク				対面授業
第12回	座学とフィールドワーク				対面授業
第13回	座学とフィールドワーク				対面授業
第14回	今期の振り返り1				対面授業
第15回	今期の振り返り2				対面授業
成績評価の基準	フィールド作業への情熱的参加をもって、成績評価の対象とします。6割以上の授業出席を要する。最終レポートは、今期に学んだことをまとめ、6000字を目安とする。必ず文献を引用し、適切な注をつけること。事実と感想を書き分けること。（平常点50点、レポート50点）				
履修にあたっての留意事項	この科目は和光大学の独自資格「流域環境士」を得るための「地域・流域プログラム」のコア科目となっている。学習の成果を2025年2月に川崎市立麻生市民館で開催予定の「里山フォーラムin麻生」で発表することが出来る。 授業の連絡は前期「里山保全の理論」同様メイリングリストsy@wako.ac.jpで配信、共有する。ポータルは使わない。分からないことがあれば、前期「里山保全の理論」のこの欄を参照すること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	学外に巡検、交流などで出かける場合、交通費等は実費負担。		
教科書	各自で植物図鑑を用意すること。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に指示する。オンライン版牧野図鑑については、前期「里山保全の理論」のこの欄を参照のこと。	参考文献(ISBN)	